



チャイルドハウスこども園

暑さもようやく一段落し、朝夕の風には秋の気配が感じられるようになりました。夏の間に一回り大きく、たくましくなった子どもたち。散歩に出かけたり、秋の自然に触れたり、元気に外遊びを楽しみたいですね。



健康状況

8月下旬より、「コロナウイルス感染症」の発症件数が増えています。ご心配をおかけしておりますが、園内の衛生管理に注意を払い、ご家庭の協力を得ながら、教育・保育を行っております。早めの受診を心掛け、大きく体調を崩す事の無いようにしましょう。



9月の保健行事

身体計測	
15日(木)	3歳児
16日(金)	4歳児
20日(火)	0~2歳児
21日(水)	5歳児

ヒヤッとした時こそ、次の事故を防ぐチャンス！

9月9日は救急の日です。

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、実は事故の危険の高い場所だということをご存じですか？「ヒヤッとしたけど何もなくてよかった」で済ませるのではなく、なぜヒヤッとしたのか見直して事故を防ぎましょう。

① 「ダメ!」「危ない!」は そこが危険なサイン

子どもを叱って止めるより、ものの場所を変えるなど安全に過ごせるような環境を整えましょう



② 一度あれば二度、二度あれば三度ある

危ないと思ったら、必ず理由を考えましょう。原因が分かれば対策が取れます。対策をしないと大きな事故につながります。

③ 大人も一緒にやってみよう！

子どもが過ごす場所が安全かどうか、子どもの目の高さでチェックしてみましょう。遊具やおもちゃは、一緒に遊んで正しい使い方を伝えましょう。





ご家庭の救急箱の中身 チェックしていますか??

「救急箱には必ずこれを!」という決まりはありませんが、普段よく使うもの、清潔なものを入れておきましょう。ただし、薬には使用期限がありますし、テープ類は古くなると粘着力が弱くなります。1年に1回は中身をチェックしましょう。

絆創膏



ケガに合わせて選べるように、形、サイズをいくつか用意しておくとう便利です。

はさみ



救急箱様にしておくと衛生的です

体温計

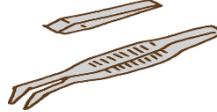


ガーゼ・医療用テープ



個包装の滅菌タイプのもので使いやすいでしょう

毛抜きやピンセット



常備薬



虫よけやかゆみ止め など



血を見るとびっくりするものですが、子どもの鼻の粘膜は敏感なため、ちょっとしたことで鼻血が出ます。正しく対応すれば数分で止まるので、落ち着いて対応しましょう。



1 鼻をぎゅっとつまむ

小鼻（左右の鼻の穴の横あたり）を強めにつまんで圧迫します。子どもが不安にならないよう、やさしく声をかけてあげて。



2 うつむく姿勢で静かに過ごす

鼻血が止まるまで、静かに過ごします。子どもが鼻を触ると止まりにくくなるので、だっこしたり絵本を読んであげたりするとよいでしょう。

鼻血が出たとき **ダメ** なこと

- ✗ あお向けに寝かせる
- ✗ 上を向かせる
のどに回った鼻血を飲み込んでしまいます。
- ✗ うなじをたたく
鼻血を止める効果はありません。



●発熱等で早退、欠席されたときは・・・

- ① 解熱（体調回復）後、24時間はご家庭で様子を見られ、しっかり体調が回復してから登園して頂きますようお願い致します。
- ② 早退、欠席される場合、同園、他園に在籍するご兄弟も、出来る限り一緒にご家庭で様子を見て頂きますようお願い致します。
- ③ キッズリーで、病気・体調不良での欠席連絡をいただく場合、症状などをコメント欄にご記入ください。（熱があります、下痢をしています など）